

20. 6. 9

枢密院會議筆記

- 一 地方總監府官制
- 一 地方總監ノ監督ニ關スル件
- 一 昭和三十年勅令第三百二十三號官吏及官吏待遇者ノ懲戒手續等ニ關スル戰時特例ノ件中改正ノ件
- 一 衆議院議員選舉法第十條ノ特例ニ關スル法律案
- 一 帝國議會ノ提出ノ件
- 一 裁判所構成法戰時特例中改正法律案
- 一 帝國議會ノ提出ノ件
- 一 戰時緊急措置法案帝國議會ノ提出ノ件

樞密院會議筆記

一 地方總監府官制

一 地方總監ノ監督ニ關スル件
一 昭和二十一年勅令第三百二十三號官吏及官吏待

遇者ノ懲戒手續等ニ關スル戰時特例ノ件中改
正ノ件

一 衆議院議員選舉法第十條ノ特例ニ關スル法律
案帝國議會ニ提出ノ件

一 裁判所構成法戰時特例中改正法律案帝國議會
ニ提出ノ件

一 戰時緊急措置法案帝國議會ニ提出ノ件

議
昭和二十年六月八日(金曜日)午後三時二十分開
聖上臨御

出席員

平沼議長

清水副議長

大臣

鈴木内閣總理大臣 四番

米内海軍大臣 五番

松阪司法大臣 六番

阿南陸軍大臣 七番

豊田軍需大臣 八番

廣瀬大藏大臣 十番

太田文部大臣 十一番

安倍内務大臣 十三番

東郷兼外務大臣
兼大東亞大臣 十四番

小日山運輸大臣 十五番

顧問官

窪田顧問官 十八番

南 顧問官 十九番

奈良顧問官 二十番

林 顧問官 廿五番

二上顧問官 廿七番

大島顧問官 廿九番

小幡顧問官 三十番

三土顧問官 卅二番

池田顧問官 卅四番

泉二顧問官 卅五番

野村顧問官 卅七番

百武顧問官 卅八番

本庄顧問官 卅九番

櫻内顧問官 四十番

關席員

親王

雍仁親王 一番

宣仁親王 二番

崇仁親王 三番

大臣

岡田厚生大臣 九番

石黒農商大臣 十二番

顧問官

石井顧問官 十七番

松井顧問官 廿一番

菅原顧問官 廿二番

松浦顧問官 廿三番

潮顧問官 廿四番

深井顧問官 廿六番

眞野顧問官 廿八番

竹越顧問官 卅一番

伊澤顧問官

卅三番

平生顧問官

卅六番

委員

村瀬法制局長官

佐藤法制局參事官

以上各件二付

灘尾内務次官

北方總監府官制外三件二付

黒川司法次官

齋藤司法省民事局長

以上裁判所構成法戰時特例中改正法律案
帝國議會へ提出ノ件ニ付

報告員

清水審査委員長

書記官長

堀江書記官長

書記官

諸橋書記官

高辻書記官

議長

(平沼)

之ヨリ會議ヲ開ク

地方總監府官制

地方總監ノ監督ニ關スル件

昭和二十年勅令第三百二十三號官吏及官

吏待遇者ノ懲戒手續等ニ關スル戰時特例

ノ件中改正ノ件

以上三件ヲ一括シテ議題ニ供ス第一讀會ヲ

開キ朗讀ハ之ヲ省略シテ直ニ審査委員長ノ

報告ヲ求ム

報告員

(清水)

今回御諮詢ノ地方總監府官制地

方總監ノ監督ニ關スル件竝ニ昭和二十年勅令第三百二十三號官吏官吏待遇者ノ懲戒手續等ニ關スル戰時特例ノ件中改正ノ件ニ付本官等審査委員ヲ命ゼラレ本月二日委員會ヲ開キ當局大臣及關係諸官ノ辯明ヲ聽キ以テ之ガ審査ヲ遂ゲタリ
當局大臣ノ説明ニ依レバ地方行政協議會ノ制度ハ創設以來既ニ二箇年ニ垂ントシ其ノ間各地方ニ於ケル各般ノ行政ノ統一及推進ニ寄與セル所尠カラザルモノアリ仍テ政府

ニ於テハ先般地方協議會長タル地方長官ノ地位ヲ高ムルト共ニ之ト軍管區司令官及鎮守府司令長官等トノ間ニ緊密ナル連繫ヲ採ラシメ以テ更ニ一層其ノ成果ヲ發揚セシムルニ努力シ來レリ然ルニ今ヤ戰局愈々危急ヲ告グルニ當リ陸海軍ト密接ナル連繫ノ下各地方毎ニ臨機適切ナル措置ヲ爲シ得ル強靱ナル國內體制ヲ整備確立スルハ眞ニ緊切ノ要事タルニ至レルヲ以テ最早現行地方行政協議會制度ノ如キ協議制度ヲ基礎トスル

組織ヲ以テシテハ到底此ノ緊迫セル局面ニ
即應スルニ充分ナラズ是非トモ地方各般ノ
行政ヲ一層強力ニ把握推進セシメ緊急ノ場
合中央ニ代リテ管下各地方機關ヲ完全ニ一
體的ニ統轄運営シ得ルガ如ク其ノ機構権限
等ヲ充實強化スルノ要アリ仍テ今回政府ニ
於テハ從前ノ地方行政協議會ヲ廢止シ全國
ハ地域ニ對シ新ニ地方總監府ヲ設置シ各地
方ニ於ケル各般ノ行政ヲ眞ニ強力ニ統轄運
營セシムルト共ニ中央ノ權限ヲ廣ク之ニ委

讓シ以テ敏速機宜ノ措置ヲ執ルコトヲ得シ
メ當面セル事態ノ急ニ應ゼシメントシ茲ニ
本案三件ノ勅令ヲ起草シ本院ノ詢議ニ付セ
ラレタルモノナリ
次ニ本案各件ノ要旨ヲ述ブレバ左ノ如シ
第一 地方總監府官制
(一) 地方總監ハ大東亞戰爭ニ際シ地方ニ於
ケル各般ノ行政ヲ統轄シ法令又ハ特別
ノ委任ニ依リ其ノ職權ニ屬スル事務ヲ
管理スルモノトシ地方總監府ノ名稱位

置及管轄區域ハ別表ノ通トス

(二) 地方總監府ニハ通ジテ親任ノ地方總監
八人、勅任ノ地方副總監六人、參事官專任
三十人、外奏任ノ秘書官、副參事官事務
官及判任ノ屬各々專任若干人ヲ置キ地
方副總監ハ北海及四國兩地方總監府ニ
ハ之ヲ缺クモトシ、地方總監、地方副總
監及秘書官以外ノ職員ノ各地方總監府
ニ於ケル定員ハ内務大臣之ヲ定ム

(三) 地方總監ハ行政全般ノ統轄ニ付テハ内

閣總理大臣ノ指揮監督ヲ内閣又ハ各省
ノ主務ニ付テハ内閣總理大臣又ハ各省
大臣ノ指揮監督ヲ夫々承クルコトトシ
地方總監府ニ關スル事務ハ内務大臣之
ヲ統理スルモノトス

(四) 地方總監ハ(一) 其ノ職權又ハ特別ノ委任
ニ依リ管内一般又ハ其ノ一部ニ地方總
監府令ヲ發シ之ニ三月以下ノ懲役若ハ
禁錮、拘留、百圓以下ノ罰金又ハ料料ノ罰
則ヲ附スルコトヲ得ベク(二) 非常急變ノ

場合ニ臨ミ兵力ヲ要シ又ハ警護ノ爲兵
備ヲ要スルトキハ當該地方ノ陸海軍ノ
司令官ニ移牒シテ出兵ヲ請フコトヲ得
ルモノトシ(ハ)所部ノ官吏ヲ指揮監督シ
高等官ノ功過ハ内務大臣ニ具狀シ判任
官ノ進退ハ之ヲ專行スルコトトシ(ニ)勅
令ヲ以テ指定スル地方官衙ノ長ヲ指揮
監督シ其ノ功過ハ當該官衙ノ所管大臣
ニ具狀シ右地方官衙ノ長ノ命令又ハ處
分ニシテ成規ニ違ヒ公益ヲ害シ又ハ權

限ヲ犯スモノアリト認ムルトキハ其ノ
命令又ハ處分ヲ取消シ又ハ停止スルコ
トヲ得ベク(ホ)其ノ職權ニ屬スル事務ノ
一部ヲ前述ノ地方官衙ノ長ニ委任スル
コトヲ得ルモノトス
(五)地方總監府ニ總監官房及所要ノ部ヲ置
キ部長ハ參事官ヲ以テ之ニ充テ總監官
房及各部ノ事務分掌ハ内務大臣之ヲ定
ム
(六)地方副總監以下ノ職員ノ職務權限ヲ定

(七) 地方行政協議會令、地方參事官等臨時設置制及地方行政協議會長タル北海道廳長官及府縣知事ノ官等俸給等ニ關スル規程ハ之ヲ廢止シ茲ニ本令施行ノ際ニ於ケル職員ニ付經過的規定ヲ設ク

第二 地方總監ノ監督ニ關スル件

本件ハ内閣總理大臣及各省大臣ノ地方總監ニ對スル監督權ニ付規定シタルモノニシテ即チ(一)内閣總理大臣又ハ各省大臣ハ

所管又ハ主任ノ事務ニ付地方總監ヲ指揮監督シ若シ其ノ命令又ハ處方ノ成規ニ違ヒ、公益ヲ害シ又ハ權限ヲ犯スモノアリト認ムルトキハ之ヲ停止シ又ハ取消スコトヲ得ベク(二)各省大臣ハ主任ノ事務ニ付地方總監ニ指令又ハ訓令ヲ下スコトヲ得ルモノト爲スニ在リ

第三 昭和二十年勅令第三百二十三號官吏

及官吏待遇者ノ懲戒手續等ニ關スル戰時特例ノ件中改正ノ件

現行規定ニ依レバ大東亞戰爭中本屬長官
ハ奏任官以下ノ官吏又ハ官吏待遇者ニ對
スル減俸、謹慎又ハ譴責ノ處分ノ職權ヲ其
ノ者ノ所屬廳ノ長ニ委任スルコトヲ得ル
モノトセルガ今回地方總監府官制制定ニ
關聯シ本件ヲ以テ標示ノ勅令ニ改正ヲ加
ヘ右ノ所屬廳ノ長ノ外其ノ上級廳ノ長ニ
モ委任スルコトヲ得ルモノト爲サントス
審査委員會ニ於テハ本案ノ地方總監府官制
ニ付審議中地方總監府ノ管轄區域廣汎ニ過

ギ殊ニ東海北陸數縣ヲ連ネテ一管區ト爲ス
ガ如キ交通關係ヨリ看テ妥當ナラザルヤノ
疑念アリト爲シ管轄區域ヲ定メタル根據ニ
付質問アリタルニ對シ政府當局ヨリ此ノ管
轄區域ハ現在ノ地方行政協議會ノ地方區分
ヲ其ノ儘踏襲シ大體陸軍軍管區ト一致セシ
ムル方針ニ據リタルモノニシテ軍事上、交通
上及經濟產業上ノ各觀點ヨリ見テ此ノ區分
ヲ以テ最モ適當ナリト認メタリトノ答辯ア
リタリ

按ズルニ戦局ノ現段階ニ鑑ミ及び其ノ將來ニ具ヘ地方毎ニ綜合行政力ノ強化ヲ圖リ以テ國內體制ヲ整備スルハ現下緊切ノ要務ニ屬ス本案ノ地方總監府官制ハ實ニ右ノ要請ニ即應セントスルモノニシテ即チ現行ノ地方行政協議會ノ制度ヲ一層強化擴充シ地方官衙ノ上級官廳トシテ地方總監府ナル臨時官府ヲ新設セントスルモノニシテ機宜ノ措置タルヲ失ハズ乃チ右官制案ハ之ニ關聯スル爾餘ノ二件ト共ニ具ノ趣旨ニ於テ是認ス

ベク其ノ條項ニ於テモ別ニ支障ノ虞ヲ認メズ仍テ審査委員會ニ於テハ本案ノ三件ハ執レモ此ノ儘可決セラレ然ルベキ旨全會一致ヲ以テ議決シタリ

右審査ノ結果ヲ報告ス

議長(平沼) 別ニ御發言ナキ故第二讀會以下ヲ省略シテ直ニ採決スベシ本案賛成ノ各位ノ起立ヲ請フ

(全員起立)

議長(平沼) 全會一致可決セラレタリ